

## 登録団体概要書

(令和4年9月作成)

(ふりがな) 団 体 名		(とくていひえいりかつどうほうじん わがこと) 特定非営利活動法人わがこと	
代表者職・氏名		代表理事 大美光代	
主たる事務所の 所 在 地		〒761-8075 香川県高松市多肥下町 61-3	
連 絡 先 等		電 話	090-1571-7135
		F A X	
		e - mail	info@wagakoto.jp
		ホームページ	https://www.wagakoto.jp
法人設立年月		平成 30 年 1 月	正会員数 16 人
活 動 目 的 (定款に記載された目的)		この法人は、自治会をはじめとする地域コミュニティ組織やあらゆる分野で活動する民間非営利活動組織（NPO）に対して、担い手の発掘や継続的に活動するための活動基盤の強化、またそれらと企業および県や市町等の地方公共団体との連携の強化を図り協働を推進することにより、持続可能な社会の実現に寄与することを目的とする。(定款より)	
主たる活動分野		まちづくり活動の中間支援分野、人材育成、NPO 支援	
活 動 状 況	主 な 活 動	「一人ひとりに出番を」「1人のカリスマより100人の普通の人が担う地域づくり」を理念に活動しています。交流事業や発信事業を通して、主に高松市内の NPO 活動や地域活動の担い手発掘や、連携を促す活動をしています。また、今年度は、地域コミュニティを通じたシニア向けデジタルデバйд対策事業のコーディネートを、高松市 デジタル戦略課より受託しています。	
	活 動 地 域	高松市内	
	活 動 頻 度	通年通して活動あり	
	過 去 の 事 業 実 績	<自主事業> ・私からはじまるコミュニティワーク（交流事業）、4回開催、のべ250人参加 ・NPO 向け会計講座、3回開催、のべ45人参加 ・note 聞かせて！〇〇のわがこと（地域の団体紹介発信）、4 団体紹介 <委託事業等> ・高松市政策コンテスト開催支援業務（平成 30 年度、令和元年度） ・高松市協働企画提案事業 コミュニティプラン見直し支援事業（令和元年度、令和 2 年度） ・高松市デジタルデバйд対策事業（令和 4 年度）	

		<p>*その他、各地域コミュニティ協議会やNPO 団体からの依頼で、地域の話し合いのコーディネートや、各種研修や勉強会の企画運営を受託しています。また、県内の高校からの依頼で、生徒のキャリア教育の一環として、ボランティア活動の場をコーディネートしています。</p>
今後の活動方針		<p>上記の自主事業を継続しながら、市民活動や地域活動の担い手の裾野を広げる活動を継続し、個人や組織、団体間の交流や連携を促進します。</p> <p>また、地域の資金循環の仕組みづくりのため、高松市にコミュニティ財団の設立を目指します。財団設立後は、自団体が伴走支援のできる団体として成長しながら、人材育成を起点に、まずは若者のキャリア支援等を中心に助成プログラムを提供する予定です。</p>
県民へのPR		<p>NPO は新たな公共の受け皿としてなくてはならない存在となっていますが、社会課題の解決には時間がかかり、そのためそれを担うNPO 団体にも活動の継続性が求められます。継続するためには共に活動する人材や資金、組織づくりが大事だと感じています。そこに、専門的なスキルやノウハウを活かした伴奏型の支援が可能な団体があると、活動のさまざまな場面で相談もでき、個々の活動の継続性につながると思いませんか。</p> <p>私たちは自らが主役になる団体ではありませんが、NPO 活動をされる方たちの後方支援を通じて、社会の課題にアプローチしていきたいと思っています。</p>

(注1) 団体登録された場合、この概要書は、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2) 枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

## 活動状況報告書

(令和4年9月作成)

団体名 特定非営利活動法人わがこと

登録要件	登録要件に関する団体の活動状況等
広く県民を対象とするNPO活動を行っていること	<p>活動のエリアは、主に高松市内ではありますが、広く県民向けに実施している活動もあります。</p> <p>自主事業として、「私からはじまるコミュニティワーク」という人材発掘、交流事業があります。これまで、年に1~2回の頻度で合計4回開催し、のべ250人程の県民が参加しています。毎回、地域で活動する方をロールモデルとしてお招きし、活動の事例をお聞きします。その後、少人数のグループで、参加者がそれぞれに感じている地域の課題感や放っておけないこと、また自分ができることなどを話しながら交流をします。これまでの参加者の中には、高松市外から、観音寺市や坂出市、丸亀市、さぬき市、東かがわ市からの参加がありました。多様な「得意」を持った方が多く参加され、そこから新しい活動や事業も生まれています。</p>
より公益性の高いNPO活動を行っていること	<p>社会課題と言われるものは、多様を極め、どんどん種類が増えていっているように感じます。個々の課題への対策は益々難しくなり、単独の団体や個人で解決できる社会課題も、限りなく減少し、今後これまで以上に連携や協働といったことが必要になるはずです。</p> <p>しかし、連携や協働は、自然発生的に促進されるものではなく、間で専門的なノウハウを持ったコーディネーターの役割が必須だと考えます。また、各団体が継続性を持って活動するために、人材や資金、組織づくりにおいて、柔軟な立場で伴走支援のできる相談窓口へのニーズがあります。私たちがその役割を担うことで、地域で活動するNPO団体が継続性を持って活動することができ、それによって地域課題解決に寄与します。</p>
活発なNPO活動を継続的に行い、当該活動に発展性及び模範性があること	<p>自団体の活動の理念からも、目的からも、私たちが主役となって地域課題に直接アプローチする団体ではありません。しかし、交流事業や発信事業を通じて、地域の潜在的な人材にアプローチし、NPO活動や地域活動の新たな担い手を発掘することは、自団体の活動だけでなく、地域で活動する他のNPO団体にも有益で発展性をもたらす活動だと自負しております。</p> <p>今後は、15歳~29歳の若い人を対象に、キャリアへの意識調査結果を踏まえ、地域への関わり方の一つとしてボランティア活動への参画提案やコーディネートも実施します。多様化する地域課題に対して、それぞれの「得意」や「強み」「持ち味」を活かしあって活動することを、広く提案したいと思っています。</p> <p>また、今後、コミュニティ財団の設立に向けて、地域円卓会議や、NPO活動を支える資金循環の仕組みについて勉強会等を複数回開催する予定です。その過程でも、多様な分野で活動するNPO団体の皆さんと共に地域課題へのアプローチ方法を協議、検討</p>

	し、活動に繋げていきます。
--	---------------

(注1)この報告書は、団体の活動内容が登録要件を満たしているかを審査するための資料として用い、また、団体登録された場合、寄附を検討する県民への資料として、公開されます。

(注2)枠内に記入できない場合は、枠を広げて記入ください。A4版であれば、複数枚になっても結構です。

(注3)活動の状況等が分かる資料等があれば添付ください。